

生活支援コーディネーターだより

きずな

生活支援コーディネーターは生活上の「困った」や「社会貢献したい」方の相談に応じています。住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、お手伝いをする仕事です。

お問い合わせは、  
高槻市社会福祉協議会まで

TEL : 072-676-9052  
FAX : 072-661-9113

令和4年

2月発行

今月号のテーマは…

## コロナ禍だからこそ始めたい！地域の集いの場

コロナ禍で人と人の繋がりが希薄化し、孤独感を感じる人も増えた昨今。こんな状況だからこそ、地域での繋がりが求められています。コロナ禍で集いの場を行うことに不安を感じる方もいるかと思いますが、感染状況に配慮し、対策を工夫しながら、集いの場を行っている所も多くあります！今回は、生活支援コーディネーターが関わる中で、コロナ禍で新たに集いの場をはじめた方の事例を紹介します。



### コロナ禍で新たに集いの場を始めた田村正子さん

笑いヨガの講師を地域のサロンで行うなど、以前よりボランティア活動に意欲的に取り組まれている田村さん。コロナ禍で「地域の方の交流の場を作りたい！」と思い、ご自身の住む地域で「ふれあいサロン」を立ち上げました。

#### 南松原ふれあいサロンについて



南松原町公民館にて、毎週火曜 10時～12時  
事前申込不要で誰でも参加可能  
参加費は100円（茶菓子つき）

\*笑いヨガ、歌、ことわざ、早口言葉、マジックなど、  
認知症予防や皆で楽しむことを実施。

\*参加者の声  
「すごく楽しい！」  
「ここに来ると色々な人と会えてうれしい」



↑写真は笑いヨガの様子

生活支援コーディネーターとしては、ふれあいサロンを始める前に、田村さんから相談を受けて、サロンの内容や運営費、周知チラシについてアドバイスをしました。とても熱心に活動を進める田村さんにサロンへの思いを聞くことが出来たので、裏面で紹介します。

裏面



## 新たに集いの場を始めた田村さんにインタビューしました



### 地域の交流の場をつくりたいと思ったきっかけは何ですか？

⇒コロナ禍になり、街を歩いている人が落ち込んでいるように見えたり、周囲の人も、人との関わりが減ったことで今までより元気がないように感じました。地域の交流の場をつくることで、皆に元気になってもらいたい！と思ったことが始まりです。

### サロンを始めてみてどうですか？

⇒サロンに来てくれた人が楽しんでくれるのが嬉しいです！それがやりがいですね。そしてサロンを行っている私自身も参加者の皆さんから元気をもらっています。ここだから話せるという話をして下さる方もいて、サロンが皆さんの居場所になれば良いなと思っています。



↑皆さんで歌っている様子



↑歌に合わせて手拍子！

### サロンを行う上で気を付けていることはありますか？

⇒コロナ禍なので感染症対策には気を付けています。窓を開けたり、参加時に体温測定をしたり、密にならないように参加者の人数に気を配っています。

### サロンを行う上で苦労したり困っていることはありますか？

⇒苦労とはちょっと違いますが、現在はサロンを大体10～15名の方に利用してもらっているんです。だけど、私としてはもっとたくさんの人に来て欲しい！ただ、今はコロナ禍で外出を自粛している方もいると思うので、収まってきたら変わるのかなとも考えています。



↑ゲストによる逆さ絵クイズ

### 今後の目標があれば教えてください。

⇒サロンの今後の目標は、もっとたくさんの人に来てもらうことです。目標は20人！そして、サロンまで来れない人もいると思うので、いずれは希望する方の家に行ってサロンを行う、訪問サロンを行いたいと考えています。また、サロンの他にも、外でボランティア活動などを行う時に、意識的に周囲の方に声掛けをするようにしているので、それを続けたいと思います。

### サロンの見学とインタビューを行って…

田村さんのサロンは、参加者が楽しそうな様子が印象的で、訪れるだけで元気になれる場所だと感じました。また、田村さん自身も参加者から元気をもらっているということで、コロナ禍でも人とのつながりを持つことの必要性を改めて感じました。

生活支援コーディネーターは「集いの場をつくりたい」「何かやってみたい」という方のお手伝いをしています。また、実際に集いの場を始めた後も、随時相談にのっています。興味のある分野の集いの場を紹介したり、見学の調整等も行いますので、ぜひお気軽にご相談下さい！